
2015年度決算 および 中期経営計画(2016～2018年度)

2016年5月10日



朝日工業グループ

2015年度決算概要

2015年度決算（連結）

● 売上高	36,348百万円
● 営業利益	1,915百万円
● 経常利益	1,931百万円
● 当期利益	2,503百万円

前年度・期初予想との比較

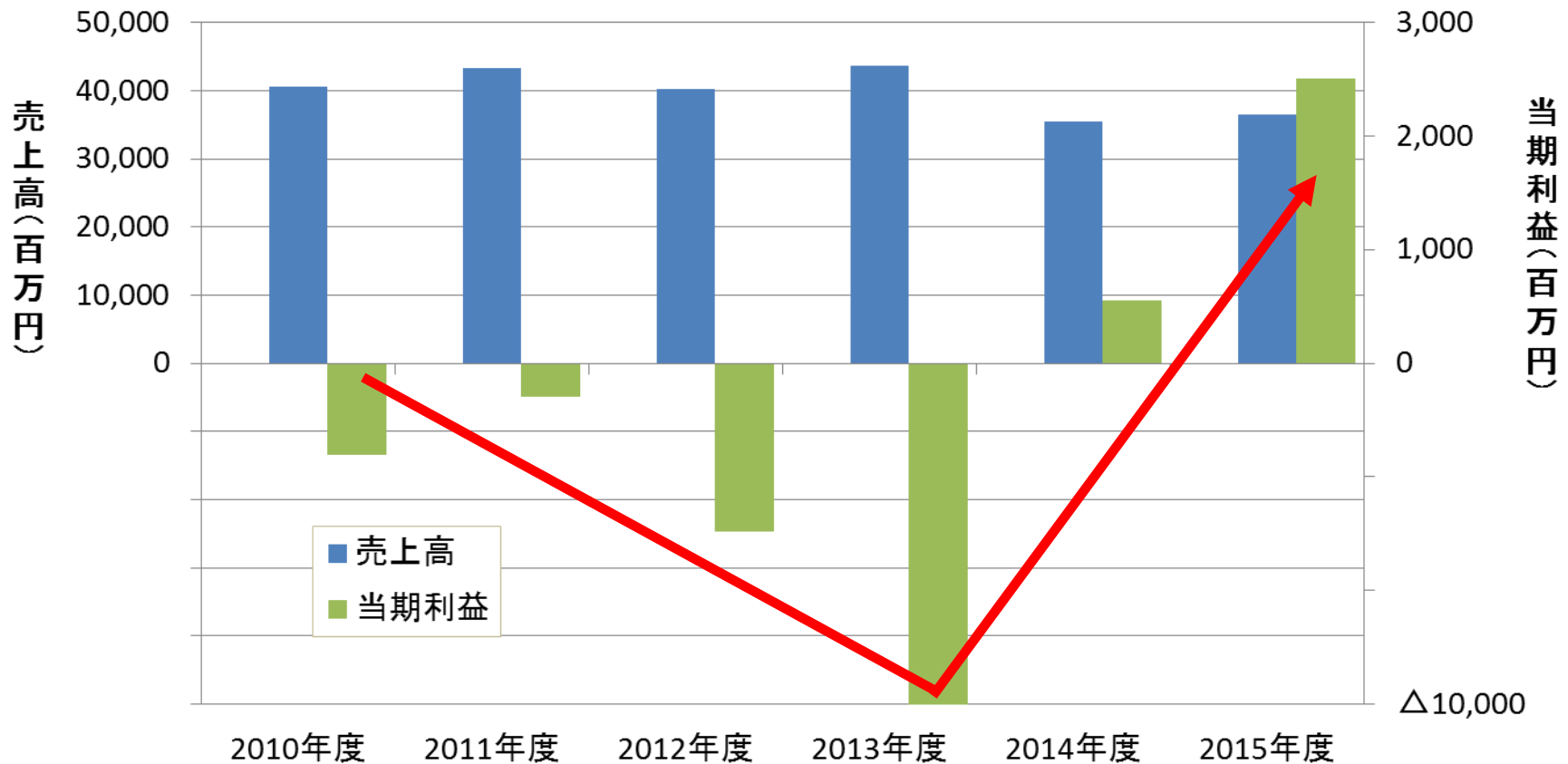
— 期初予想を上回る増益決算 —

(百万円)

	2014年度 実績 ①	2015年度 期初予想	2015年度 実績 ②	差異 ②-①
売上高	35,494	37,400	36,348	+853
営業利益	409	1,650	1,915	+1,506
経常利益	348	1,500	1,931	+1,583
当期利益	549	1,400	2,503	+1,954

通期決算の業績推移

— 2013年度をボトムにV字回復 —



セグメント業績概要

(百万円)

売上高	2014年度 実績	2015年度 実績	差異 (前期比)
鉄鋼建設資材本部	19,860	19,853	△7 (△0.0%)
農業資材本部	13,018	13,821	+803 (+6.2%)
環境ソリューション事業	642	620	△21 (△3.3%)
砕石砕砂・ マテリアルリサイクル事業	1,938	2,010	+72 (+3.7%)
全社	35,494	36,348	+853 (+2.4%)

セグメント業績概要

(百万円)

セグメント利益	2014年度 実績	2015年度 実績	差異 (前期比)
鉄鋼建設資材本部	65	1,942	+1,876 (+2850.6%)
農業資材本部	980	737	△242 (△24.8%)
環境ソリューション事業	36	36	△0 (△0.6%)
砕石砕砂・ マテリアルリサイクル事業	151	89	△61 (△41.0%)
全社	409	1,915	+1,506 (+367.9%)

連結貸借対照表

— 有利子負債を大幅に削減 —

(百万円)

	2014年度 実績	2015年度 実績	差異 (前期比)
流動資産	14,849	13,845	△1,003(△6.8%)
固定資産	13,088	11,982	△1,106(△8.5%)
総資産	27,938	25,828	△2,110(△7.6%)
負債計	21,909	18,111	△3,798(△17.3%)
純資産	6,028	7,716	+1,688(+28.0%)
有利子負債	12,512	9,923	△2,589(△20.7%)
ROE(%)	9.8	36.4	+26.6

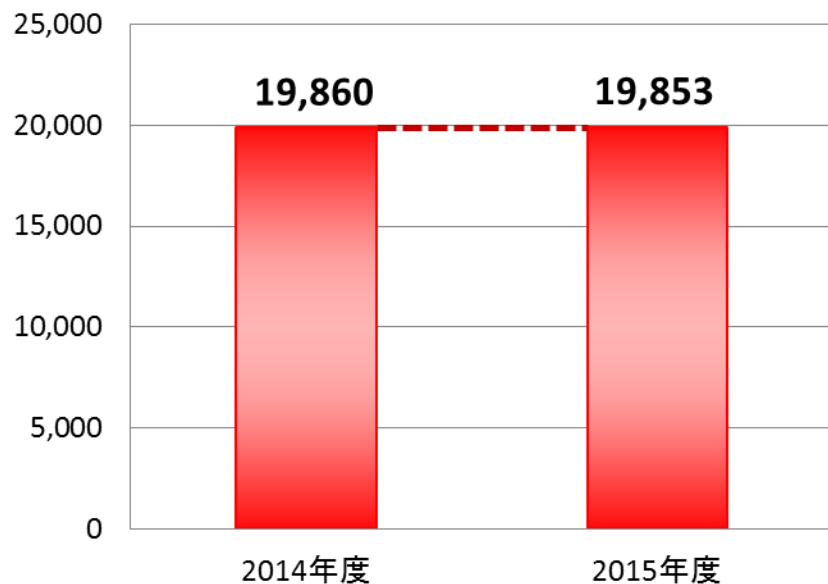
連結キャッシュフロー

(百万円)

	2014年度 実績	2015年度 実績	差異 (前期比)
営業活動によるCF	△1,164	3,852	+5,017(430.8%)
投資活動によるCF	△1,044	△61	+983(94.1%)
財務活動によるCF	1,065	△2,639	△3,705(△347.6%)
現金及び現金同等物の 期末残高	1,501	2,640	+1,139(75.9%)

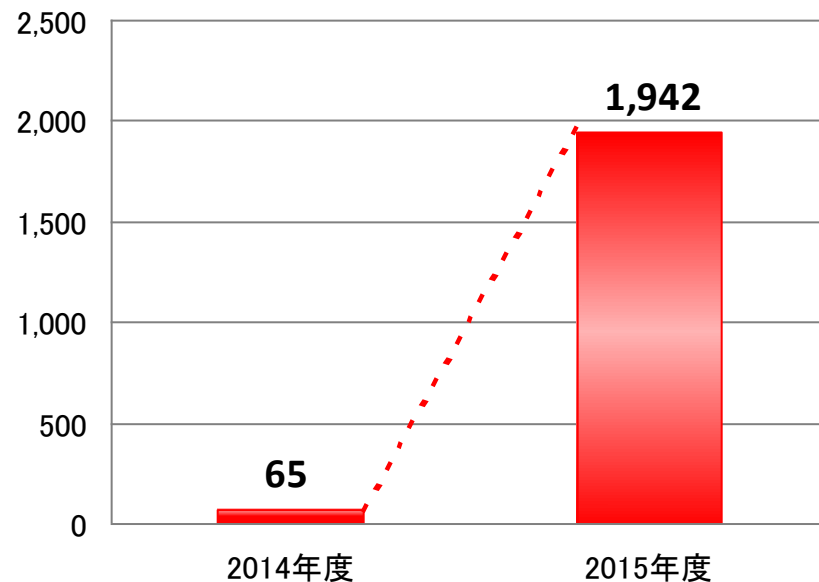
鉄鋼建設資材事業

売上高 (百万円)



前期比ほぼ同額

セグメント利益 (百万円)



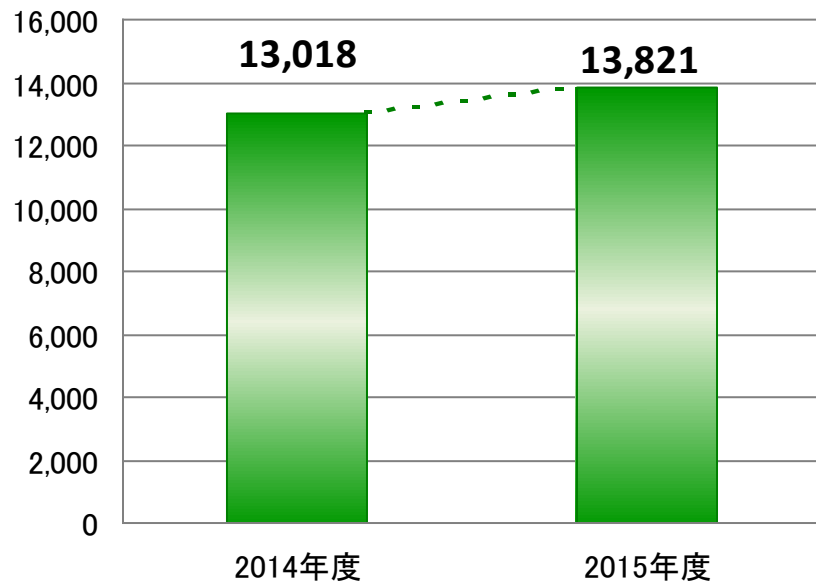
前期比約30倍

- 販売数量増加するも売上高は横ばい
- メタルスプレッド拡大

➡ 大幅増益

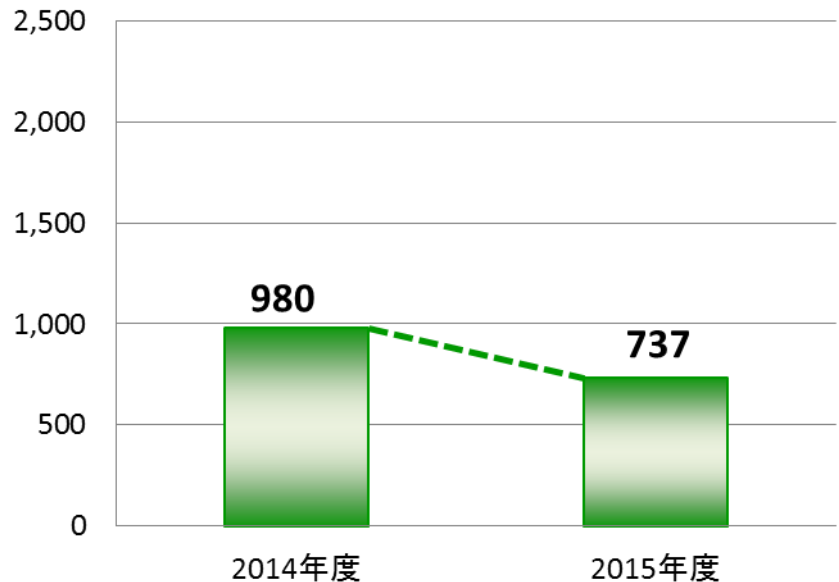
農業資材事業

売上高 (百万円)



前期比6.2%増

セグメント利益 (百万円)



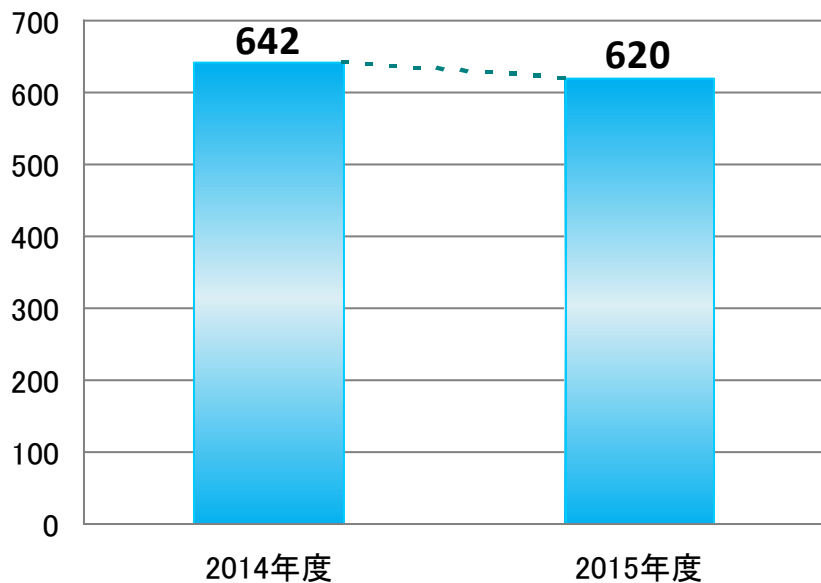
前期比24.8%減

- 肥料・園芸事業共に販売数量増加
- 原料・製造コストの増加

➡ 増収減益

環境ソリューション事業

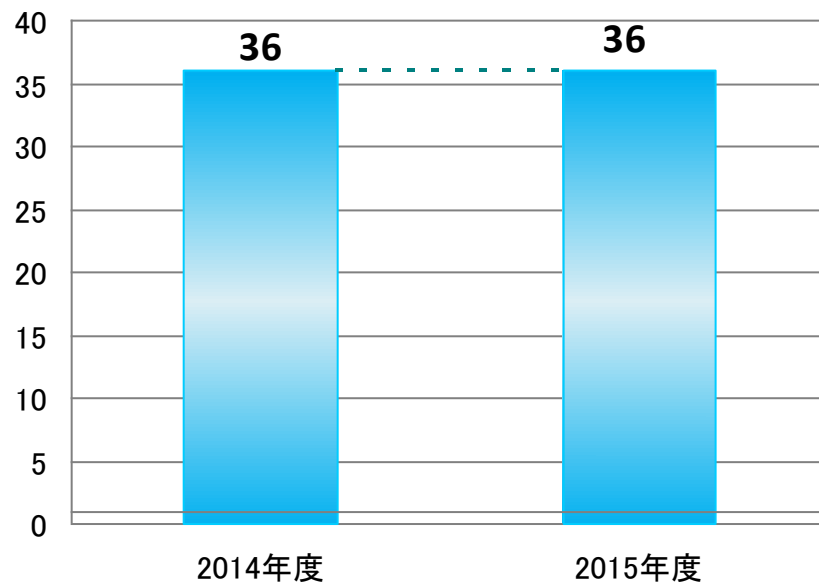
売上高 (百万円)



前期比3.3%減

- 官公庁受注の減少
- 民間受注は堅調に推移

セグメント利益 (百万円)

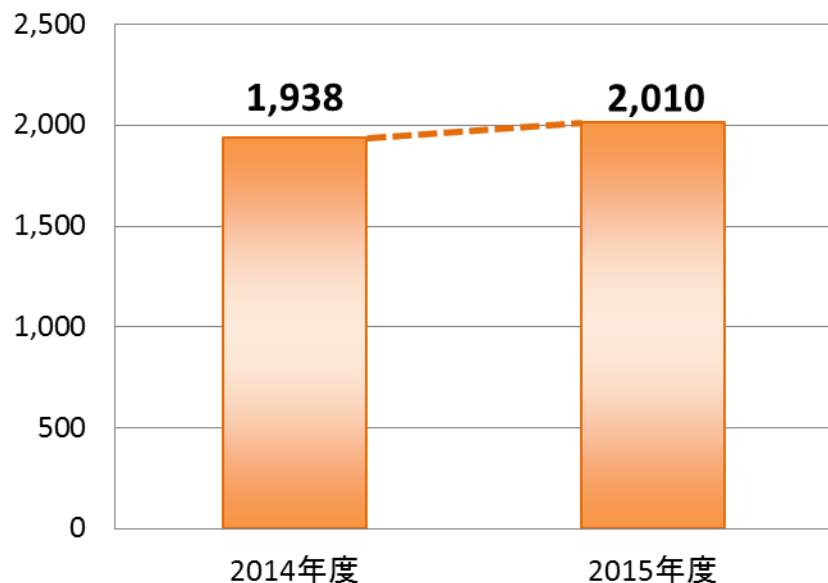


前期比0.6%減

➡ 減収減益

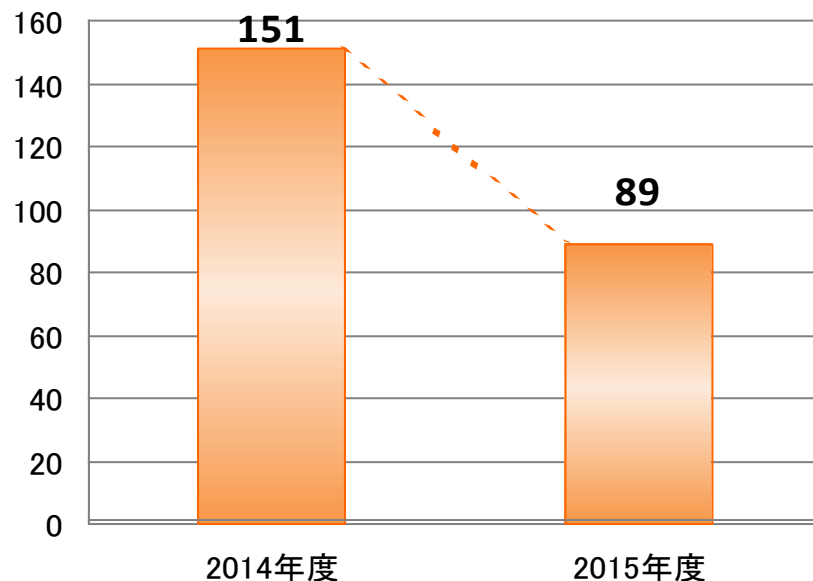
碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業

売上高(百万円)



前期比3.7%増

セグメント利益(百万円)

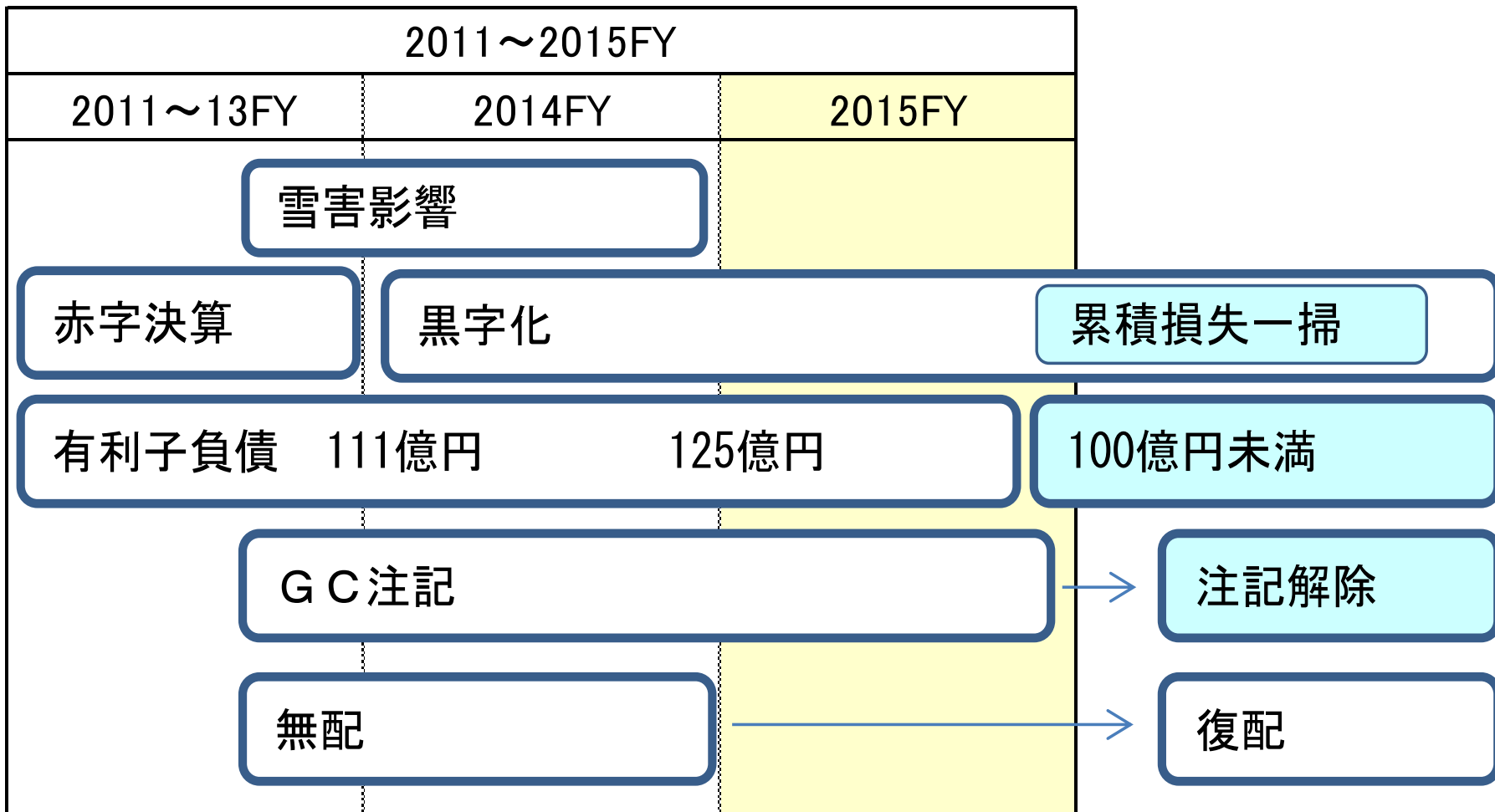


前期比41.0%減

- アスファルト合材向け商品の販売増加
- 生コン向け自社製品需要の低迷

➡ **増収減益**

2015年度決算 総括



2015年度決算 総括

株主総会での承認を前提として**復配**
(3年ぶりの**配当**)

	1株当たり年間配当金(円.銭)		
	第2四半期末	期末	合計
2015年度予定	0.00	40.00	40.00
(内 普通配当)	0.00	30.00	30.00
(内 記念配当)	0.00	10.00	10.00

中期経営計画 (2016～2018年度)

ASAHI 2018 プロジェクト

 朝日工業グループ

1. 基本方針

【中期経営計画 基本方針】

資源循環型社会の担い手として

『スペシャリティ(明確な強み)』を持つ会社へ

～高品質へのこだわりをもって技術・開発力を更に強化し

『スペシャリティ分野(強みを有する分野)』のリーダーを目指す～

中計期間(2016～2018年度)

- ① 「スペシャリティ分野」への経営資源のシフト
- ② ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新
- ③ 強固な財務基盤の再構築

2. スローガン

ASAHI 2018 プロジェクト

Ambition

…大いなる志をもって

Speciality

…スペシャリティ分野のリーダーになるべく

Action

…直ちに行動を起こします。

High quality

…高品質へのこだわりを持って

Innovation

…不断の変革に挑戦します。

3. 経営理念と指針

経営理念

- 誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。
- 良い製品、良いサービスを提供し、地球環境に貢献し続けます。

環境指針

- 環境負荷低減、地球温暖化防止、ゼロエミッションを通して、環境へ貢献します。

CSR指針

- 社会へ貢献、感謝、恩返しを大切にします。

コーポレートマーク



コーポレートマークは、朝日工業の「A」の文字を中心に、「太陽」、「緑」、「地球」をイメージし、経営ビジョンである地球環境への貢献を表したものです。

4. 基本戦略

中期経営計画 基本戦略

- 「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」への経営資源のシフト
- ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新(迅速性・透明性の向上)
- 強固な財務基盤の再構築

戦

事業戦略

- ◆ 技術・開発力に裏打ちされた製品の製造、販売にリソースを集中し、
「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」を強化
- ◆ 原単位低減、生産性向上等、本源的なコストダウンの追求

略

経営基盤強化戦略

- ◆ 監査等委員会設置会社への移行、組織改正、会議体見直し等による
ガバナンス体制の刷新
- ◆ 執行役員制度の導入、人事制度の改定等による「人財」基盤の充実

財務戦略

- ◆ 安定収益による有利子負債圧縮

5-1. 事業戦略(全体)

鉄鋼建設資材事業

【基盤事業】

関東地区小棒生産販売数量トップグループ
の地位確保・堅持

砕石砕砂事業

【基盤事業】

埼玉県No.1砕石メーカー
の地位堅持

環境ソリューション事業

(株)環境科学コーポレーション)
発行済株式のすべてを譲渡予定

事業別
売上高比率

農業資材事業

種子と牧草というスペシャリティを持った肥料メーカーとしての発展

肥料事業【基盤事業】 乾牧草事業【収益事業】 種苗事業【挑戦事業】
各事業の海外展開【成長分野】

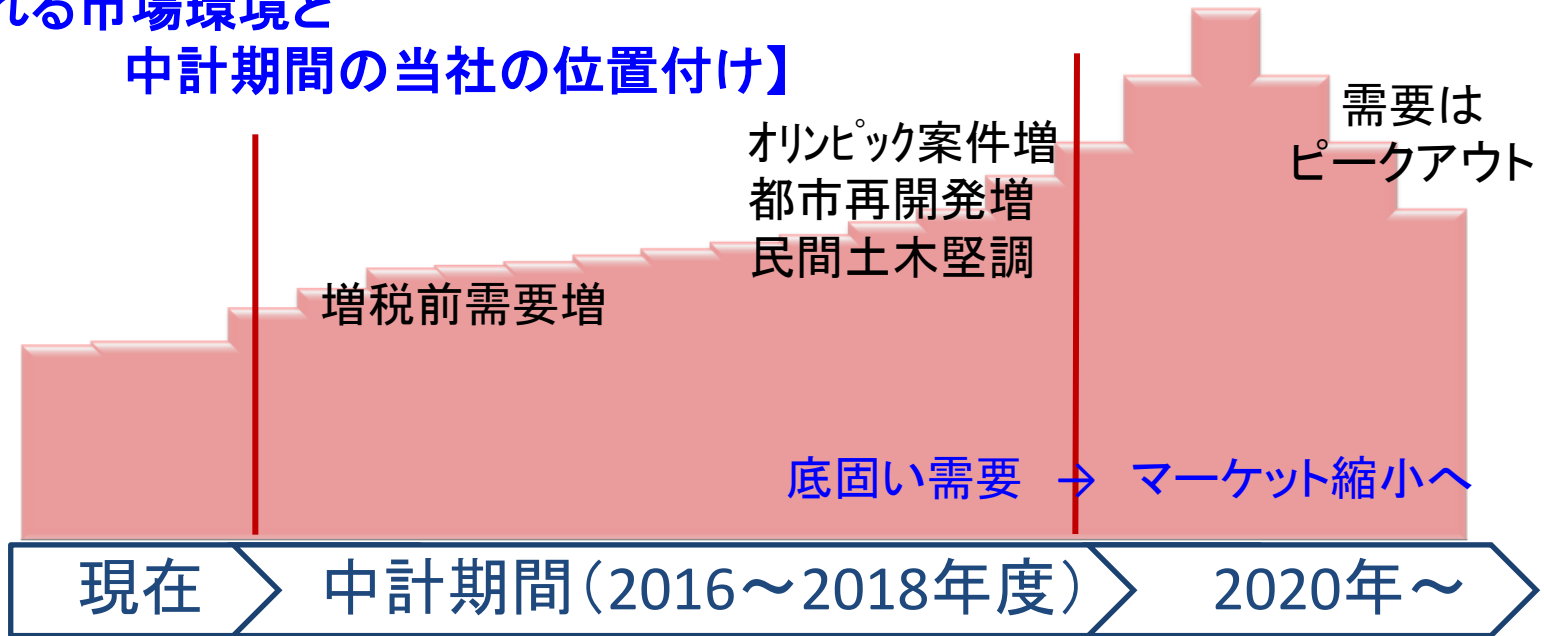
● 不断の事業ポートフォリオの見直し

5-2. 事業戦略(鉄鋼建設資材事業)

【基盤事業】

【想定される市場環境と

中計期間の当社の位置付け】



- 建設需要→東京オリンピックを控え緩やかに拡大するが、
中計期間以降はピークアウトし需要減少へ



- スペシャルティ分野(強みを有する分野)にエネルギーシフトし、
「存在感」を確かなものにするための大事な3カ年
- 中計期間以降の需要減少にも対応可能な収益基盤の構築

5-2. 事業戦略（鉄鋼建設資材事業）

【基盤事業】

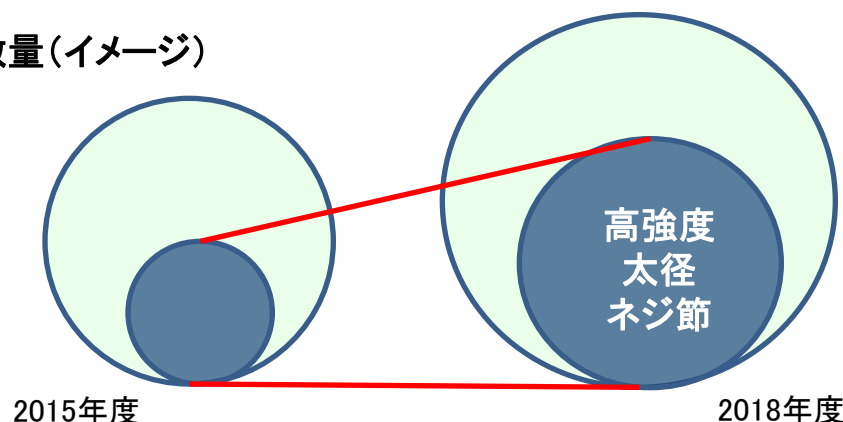
関東地区小棒生産販売数量トップグループの地位確保・堅持に向けて

戦略

- ① 高強度鉄筋、太径鉄筋、ねじ節鉄筋への経営資源のシフト
- ② 電力原単位の低減など本源的なコストダウンの追求
- ③ 製品ポートフォリオの見直しなどによる生産性の向上
・エポキシ鉄筋事業からの撤退



販売数量（イメージ）



5-2. 事業戦略（鉄鋼建設資材事業）

【基盤事業】

【計画数値】

（百万円）

鉄鋼建設資材事業	2015年度 実績	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	19,853	17,200	20,000	20,000
セグメント利益	1,942	1,600	1,800	1,800

- 2016年度 メタルスプレッド縮小
- 2017、2018年度 販売数量増加

5-3. 事業戦略(農業資材事業)

農業資材事業の位置付け

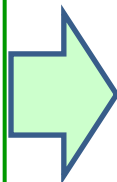
～2015年度

- ・肥料事業
- ・園芸事業
- ・種苗事業
- ・乾牧草事業
- ・関係会社

龍大朝日
ジョンソン朝日



各事業が
個別に
戦略を展開



●肥料事業 【基盤事業】

(農業資材事業のコア事業)

龍大朝日(中国)

●乾牧草事業 【収益事業】

(安定的高収益の維持)

ジョンソン朝日(オーストラリア)

●種苗事業 【挑戦事業】

(選択と集中による収益改善)

[開発提携]大手種苗会社(オランダ)

[販売提携]上海の種苗会社(中国)

各海外展開
【成長分野】



各事業の位置付けを明確にし、**種子と牧草という
スペシャリティを持った肥料メーカー**として発展

5-3. 事業戦略(農業資材事業)

種子と牧草というスペシャリティを持った肥料メーカーとしての発展に向けて

▶ 肥料事業【基盤事業】

戦略

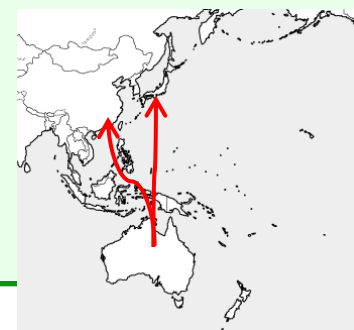
- ①製造技術に強みを有する**粒状有機質肥料**の製造・販売数量拡大
 - ・販売エリア拡大と新規ルート開拓
 - ・営業体制の一元化(肥料・種苗の販売)
 - ・従来の肥料事業と園芸事業を統合
- ②**未利用資源活用**による原料開発と
3工場一体運営による生産効率化
- ③中国(山東省)における有機質肥料の製造・販売
【龍大朝日の基盤整備→中国・東南アジア展開への布石】
※龍大朝日:2011年設立の合併会社

▶ 乾牧草事業 【収益事業】

戦略

アジアを中心とした需要拡大を背景に、安定した利益構造を持つ
ジョンソン朝日との一体運営

- ・日本、中国をはじめとするアジアへの輸出増強
- ・新商品「TMF(発酵混合飼料)」の販売増加



▶ 種苗事業 【挑戦事業】

戦略

自社品種の開発と国内外への販売拡大

- ・トマト 大玉トマトの新品種「有彩(ありさ)」の販売促進
オランダの大手種苗会社との提携による新品種の開発・育成
- ・カボチャ プリメラの普及
- ・台木 需要のある中国など東南アジアへの販売拡大
上海の種苗会社との販売提携
- ・営業体制の一元化(営業部全員で肥料・種苗を販売)
- ・開発と営業の連携を強化(種苗部長は種苗開発・普及・販売を一元管理)

5-3. 事業戦略(農業資材事業)

【計画数値】

(百万円)

農業資材事業	2015年度 実績	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	13,821	13,500	13,700	14,600
セグメント利益	737	900	900	1,100

(注) 2016年度以降の計画数値には、豪州朝日の利益を含んでおります。

- 有機質肥料の販売数量増加
- 乾牧草事業の収益拡大

5-4. 事業戦略(碎石砕砂事業:(株)上武)

【基盤事業】

埼玉県ナンバー1の地位堅持とシェア拡大に向けて

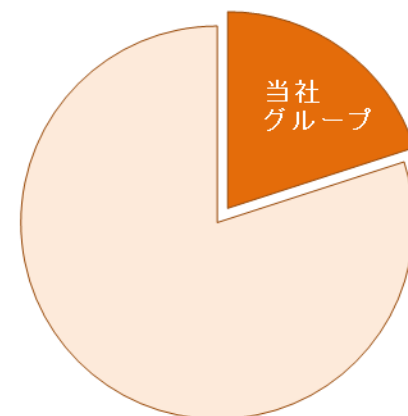
戦略

新砵区確保によるシェア拡大

- ・新砵区を確保し良質な製品の製造、販売拡大
- ・強みである多品種生産・安定供給を活かし、底固い需要が見込まれる生コン、アスファルト合材向け単砕・砕砂を販売



埼玉県内出荷量



5-4. 事業戦略(碎石砕砂事業:(株)上武)

【計画数値】

(百万円)

碎石砕砂事業	2015年度 実績	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	2,010	2,100	2,200	2,200
セグメント利益	89	100	150	150

- 新砒区確保(2016年度予定)

5-5. 環境ソリューション事業

株式会社環境科学コーポレーション

2016年5月31日を目処に発行済株式の全てを譲渡予定

資源循環型社会の担い手として 環境と本業を一体化

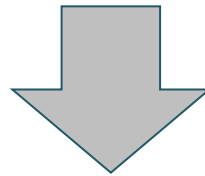
- ・鉄スクラップから頑丈な鉄筋を作り、
- ・未利用資源(家畜糞、鶏の羽、食品汚泥等)から
安全で良質な有機質肥料を作るなど

「循環型社会の形成に資する事業」

であることを強く意識し、環境企業としてのブランド構築

6-1. 経営基盤強化戦略(ガバナンス)

- ・ ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新



① 監査等委員会設置会社への移行

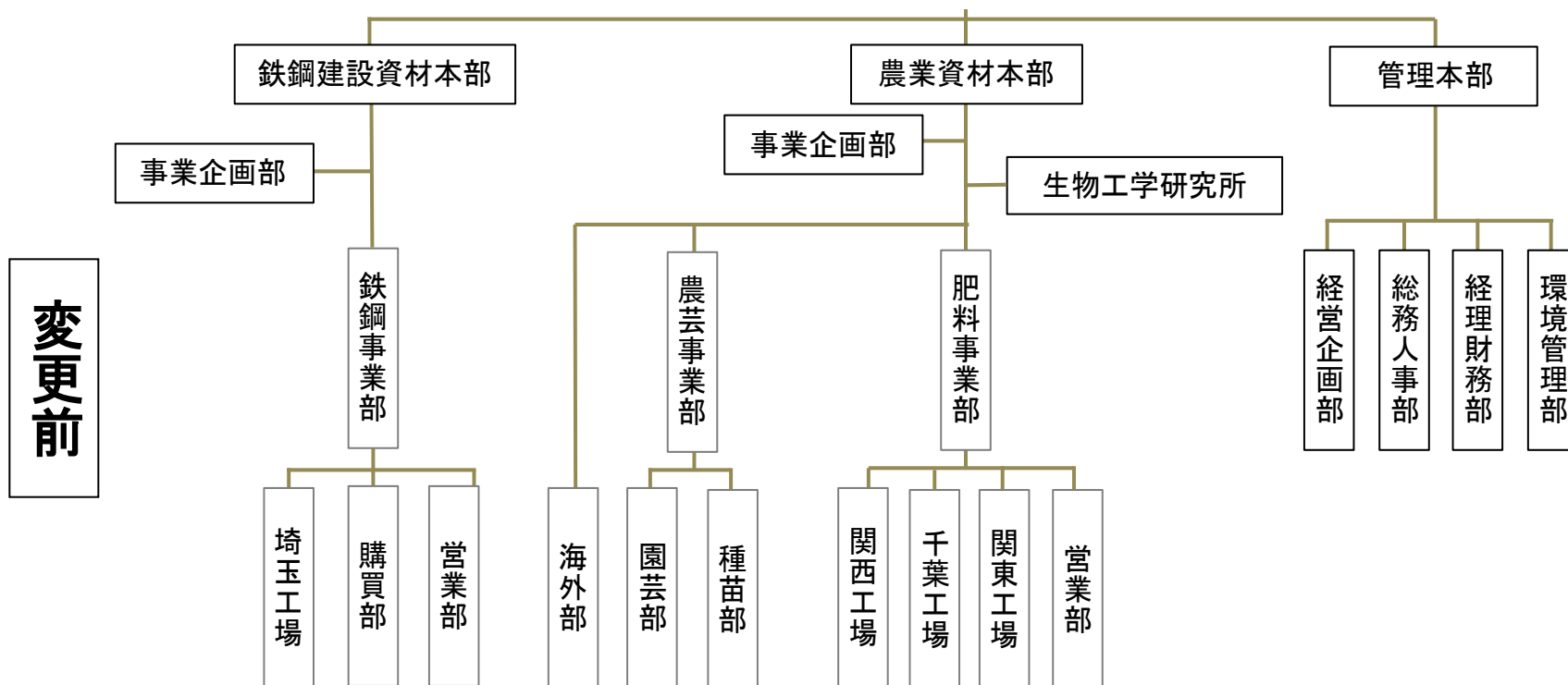
→ 監督機能の強化・充実

→ 経営の迅速性・透明性の向上

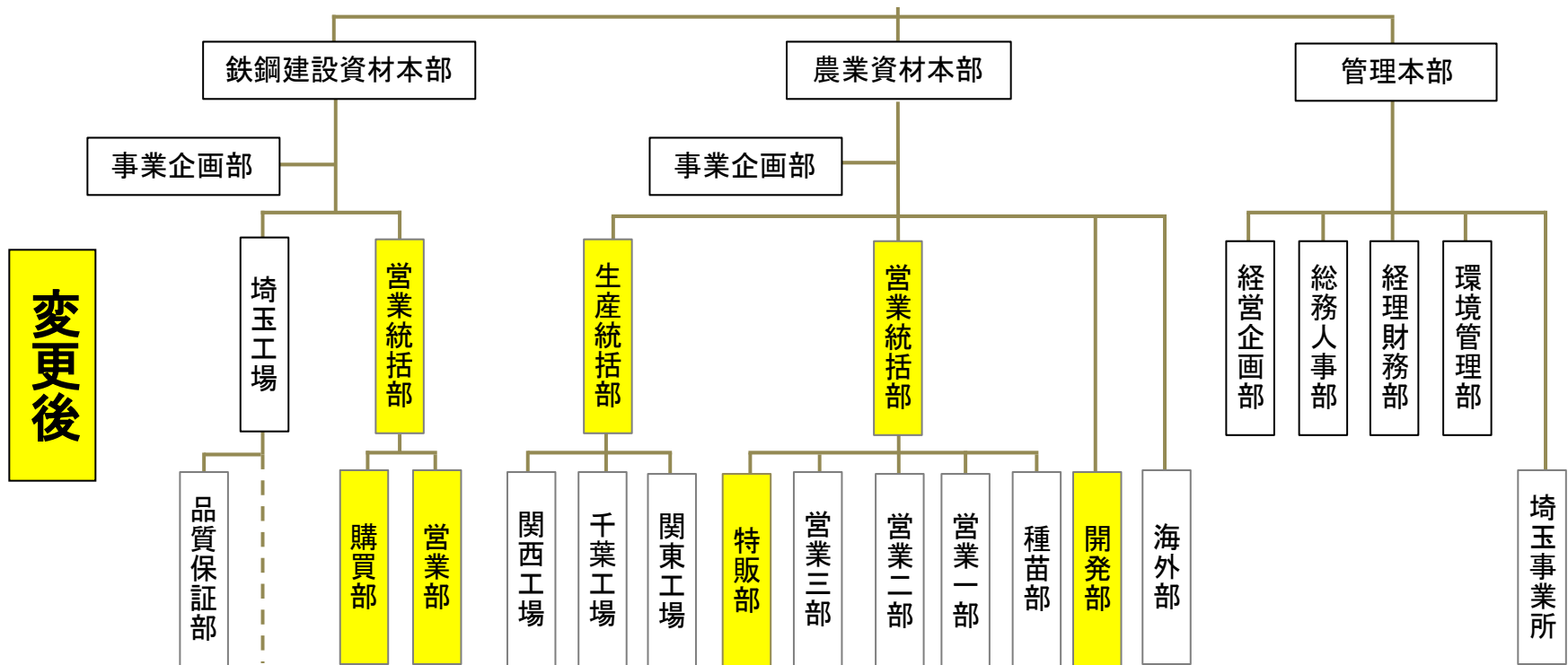
6-1. 経営基盤強化戦略(ガバナンス)

②事業部制を廃止し生産・営業の統括部を設置

→ 効率的な組織運営



6-1. 経営基盤強化戦略(ガバナンス)



6-1. 経営基盤強化戦略(ガバナンス)

③グループ内各会議体の大幅削減

→会議体数23から8

④管理業務の過半を

朝日ビジネスサポート(株) (仮称)

(現(株)テイ・アンド・アイ)に移管

→管理本部は「**企画・政策的業務**」に特化

6-2. 経営基盤強化戦略(人財マネジメント)

①執行役員制度の導入

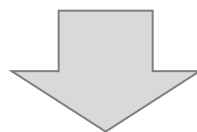
- ・将来の目標・階段を増やし、モチベーションの向上へ

②人事制度の改定

- ・評価・等級制度の見直しと教育・研修制度の充実

③社会的要請への対応

- ・高齢者雇用の促進と女性の活躍推進



**頑張って成果を上げた社員への処遇の充実
働き甲斐のある会社へ**

7-1. 財務戦略(経営指標)

	2015年度 実績	2016年度	2017年度	2018年度
経常利益率 (%)	5.3	4.5	5.3	5.7
ROE (%)	36.4	16.8	18.1	17.2
純有利子負債 (億円)	73	82	87	80

(注)純有利子負債 = 有利子負債 - 現預金

7-2. 財務戦略

(百万円)

	2015年度 実績	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	36,348	33,000	36,000	37,000
営業利益	1,915	1,500	1,900	2,100
経常利益	1,931	1,500	1,900	2,100

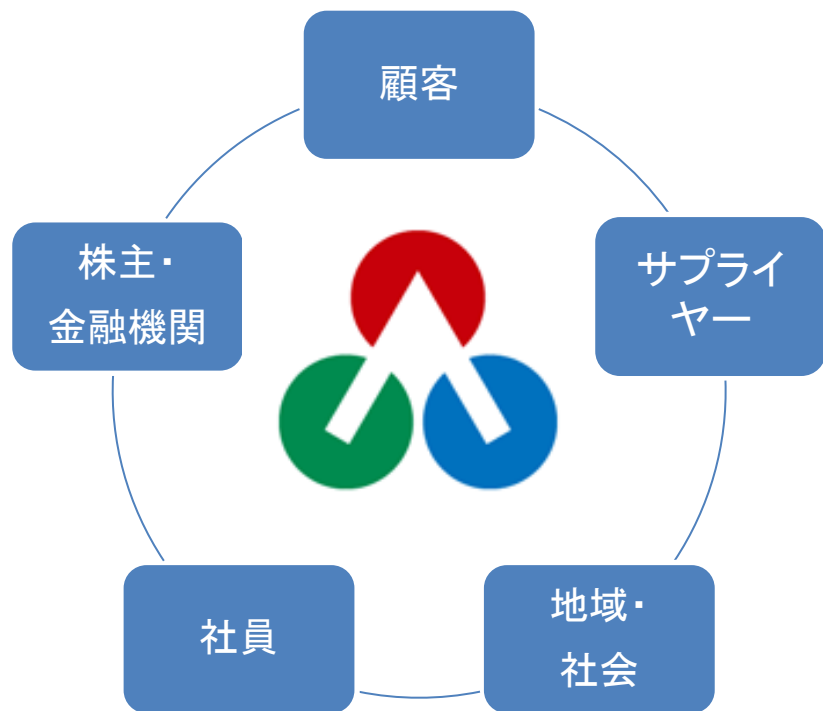
8. 配当の考え方

- 安定した利益還元 of 継続を基本
- 連結業績と配当性向および当社の資金需要、財政状態を総合的に勘案し決定
- 業績の変動に符号した中間配当のあり方も検討

9. 最後に

経営理念

- 誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。
- 良い製品、良いサービスを提供し、地球環境に貢献し続けます。



ステークホルダーの皆様の期待に応え、持続的な成長・発展をし、誠実で、公正、公平、「誰からも愛される」会社であり続けます。